

こどもからの意見募集の結果

【概要】

公募期間	2026 年（令和 8 年）4 月 8 日～5 月 7 日（30 日間）
対象者	小学 1 年生～高校 3 年生
質問方法	次の 5 つの質問に自由記述で回答 ①いじめが おきないために あなたや みんなで 出来ることは どんなことですか？ ②いじめが おきたときに あなたや みんなで 出来ることは どんなことですか？ ③いじめが おきたときに 大人にしてほしいことは どんなことですか？ ④いじめが おきたときに 大人にしてほしくないことは どんなことですか？ ⑤大人が気づきにくい いじめには どんなものが ありますか？
回答方法	回答フォーム
回答数	1 3 7 件
回答者内訳	小学生：7 7 件 中学生：5 7 件 高校生：3 件

① いじめが おきないために あなたや みんなで 出来ることは どんなことですか？

思いやりを持つ、声をかけ合う、雰囲気づくりなど「関係構築」に関する意見が最も多く、小中高すべての校種に共通していた。次いで、悪口を言わない、暴力をしないなど「自制」に関する意見、いじめを見たら注意する、先生に伝えるなど「注意・相談」に関する意見が多かった。中学生では、人に必要以上に干渉しない、適切な距離を保つといった「不干渉」を挙げる意見もみられた。高校生からは、いじめをすることが自分の将来に及ぼす影響まで考えるべきとの意見もあった。

<こどもの声（抜粋）>

（小学生）

- ・失敗を笑わない。やさしい声かけをする。声かけをし合う。
- ・嫌がることをしてしまったら、「ごめんなさい」と言う。

（中学生）

- ・個性を受け止め理解する。相手の意見を尊重する。自分の考えを押し付けない。
人は人、自分は自分。
- ・人と適切な距離を保つ。人に必要以上に干渉しない。

（高校生）

- ・目先の地位や反応だけしか見えないからいじめてしまう。自分の今後にどう影響するのか、相手の今後への責任は取れるのか、そんなことをしてしまう自分は社会的にどういう存在なのかまでじっくり考える。

② いじめが おきたときに あなたや みんなで 出来ることは どんなことですか？

いじめをしている子にやめるように言うといった「注意」に関する意見、先生や家の人、友達に相談するといった「相談」に関する意見が小中学生に多く、ポスターをつくっていじめ防止をみんなに意識させるといった「啓発」に関する意見もあった。高校生では、助けて話し合いをするといった「こども同士での解決」に関する意見があった。

<こどもの声（抜粋）>

（小学生）

- ・「ダメだよ」と注意する。何回も言う。言葉で止める。いじめの理由を聞く。
- ・いじめられている子に声をかける。助ける。
- ・「ああ～いじめてる～！」みたいな雰囲気をつくって、いじめにくくする。
- ・先生や家の人、信頼できる大人、友達に言う。
- ・ポスターをつくっていじめ防止をみんなに意識させる。

（中学生）

- ・注意する。二度としないように言う。
- ・先生に言う。家の人、周りの大人に相談する。
- ・いじめられている人・悲しそうな人の話を聴く。慰める。みんなで励ます。
- ・自分に関係のないいじめは関わらない。

（高校生）

- ・その場の状況を見て、助けが必要であれば助ける。
- ・いじめる理由をしっかりと理解し、みんなで話し合う場を設ける。

③ いじめが おきたときに 大人にしてほしいことは どんなことですか？

まずいじめられている子といじめている子の話を怒らず聴いてほしい、気づいてほしいといった「傾聴」に関する意見、いじめている子に注意をしてほしい、いじめをやめさせてほしいといった「いじめの解消」に関する意見、いじめている子を転校させてほしい、欠席させてほしいといった「隔離」に関する意見が、小中高すべての校種に共通していた。校種ごとの特徴として、小学生では、大人がそばにいてほしい、寄り添ってほしいといった「保護」に関する意見、中学生では、いじめられた人の居場所づくりやカウンセリングといった「心のケア」に関する意見、察してほしい、陰で対処してほしいといった「対応方法への配慮」に関する意見、高校生では、いじめをした人に不利益を課すといった「制裁」に関する意見があった。

<こどもの声（抜粋）>

（小学生）

- ・いじめられている子といじめている子の話を聴いてほしい。
- ・仲直りをさせてほしい。どうやって助けたらいいか教えてほしい。
- ・「今日は嫌だったね」「そんなことがあったんだね」などやさしい言葉をかけてほしい。
- ・大人と一緒にいたら止まるかもしれないから、なるべくそばにいてほしい。
- ・いじめをした子を転校させてほしい。学校に来させないでほしい。

（中学生）

- ・いじめが起きていることに気づいて、注意をしてほしい。
- ・物事を察してほしい。家の人に言ってほしくないから、陰で対処してほしい。
- ・いじめられている子を放置しないでほしい。見過ごさないでほしい。
- ・意思を尊重してほしい。しっかりと真正面から話を聴いてほしい。
- ・いじめられた人の居場所をつくってほしい。
- ・いじめられた人のカウンセリングをしてほしい。心の傷が癒えるまで、いじめた人とは会わない、話さないように工夫してほしい。
- ・いじめている人をきつく懲らしめるのではなく、なぜいじめてしまったのかを優しく聴いてほしい。
- ・いじめていた子が本気で反省できるような言葉をかけてほしい。

（高校生）

- ・両方の話を聴いて、いじめた子の方を解決してほしい。いじめられた子が学校を休むのは違うと思う。
- ・いじめをした人を世に知らしめてほしい。社会的にその人がどんな人か評価してほしい。

④ いじめが おきたときに 大人にしてほしくないことは どんなことですか？

話をよく聞かずに叱らないでほしい、見て見ぬふりや気にしすぎだと言って取り合わないのはやめてほしいといった「傾聴」に関する意見、大人だけで勝手に決めつけて解決しないでほしいといった「こどもの意見の尊重」に関する意見は、小中高すべての校種に共通していた。加えて、小学生では、みんなの前で話さないでほしい、いじめをしていない人に怒らないでほしいといった「指導の対象」に関する意見があった。

＜こどもの声（抜粋）＞

（小学生）

- ・何も知らないのに怒るのはやめてほしい。話をよく聞かずに叱らないでほしい。
- ・いじめを報告した後、誰から聞いたのか言ってほしくない。
- ・みんなの前で話さないでほしい。こっそりしてほしい。
- ・携帯とかをみて話を聴いてくれなかったり、無視したりするのはやめてほしい。
- ・勝手に大人同士で解決しないでほしい。自分たちで解決したい。

（中学生）

- ・親身になってほしい。信じてほしい。
- ・「そんなん気のせい」みたいに軽く扱って、ちゃんと話を聴かないのはやめてほしい。
- ・勇気を出して話したことを否定しないでほしい。
- ・みんなの前で一人一人に聞いてまわるのはやめてほしい。
- ・いじめている人を懲らしめないでほしい。いじめている人にも、家の関係などでストレスが溜まっていた可能性があるのも、懲らしめすぎると逆にまたいじめてしまう。
- ・個人が特定されないようにしてほしい。知られたくないこともある。

（高校生）

- ・大人の話だけ聴いて子どもの話を無視したり、曖昧な注意で済ましたりするのではやめてほしい。

⑤ 大人が気づきにくい いじめには どんなものが ありますか？

先生の前では仲良くし先生のいないところで暴言や無視をすること、LINEなどのSNSでの悪口を書き込むことといった「先生のいないところでのいじめ」に関する意見が、小中高すべての校種に共通していました。場所については、トイレ、登下校中、放課後の公園等の「先生のいないところ」が小中学生に多く、方法については、陰口・暴言・噂話等の「言葉によるいじめ」、目配せして馬鹿にしたり、いじりの限度を超えたからかいなどの「嫌な雰囲気をつくるいじめ」がすべての校種に共通していた。

<こどもの声（抜粋）>

（小学生）

- ・仲良く見えても、仲間内ではいろいろある。表面的には気が付きにくい。
- ・大人の前では良い子にしているけど、こどもだけになると急に悪口を言ったりしている。
- ・悪口、陰口。ただ話しているだけに見える。
- ・いじめをしている子が誰にも言うなと言う。言ったらいじめてやると脅す。
- ・SNS（グループLINEなど）で悪口を言う。
- ・いじめてるけど「俺ら友達だもん！」や「遊んでるだけだよ！」と言って、相手に「うん。」と言わせて、いじめられていないと本人に強制的に言わせること。

（中学生）

- ・学校のトイレ、放課後、学校生活外、どこかのお店。
- ・いじめられた人が「これは大人に言うほどでもない」と思うようないじめ。
- ・SNSでの悪口。DMによる誹謗中傷。クラスLINEでのやりとり。
- ・仲良くしてるフリをして陰口を言われる。
- ・普段明るい子が、その明るさのためにいじめられている。

（高校生）

- ・グループ内の無視や暴言、トラウマを刺激する行動。
- ・一緒に話している中で自分以外で目配せされたり、急に空気が変わったり、馬鹿にされている話だなと気づいたり、仲良くしている風に見えて、巧妙な手口でしれっと嫌がらせを混ぜ込む。